(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2005-323047
(P2005-323047A)
(43)公開日　平成17年11月17日(2005.11.17)

(51)Int.Cl.[7]	F I		テーマコード（参考）
H04M 1/00	H04M 1/00	U	5K027
H04M 1/247	H04M 1/247		

審査請求 未請求　請求項の数 2　OL　（全 6 頁）

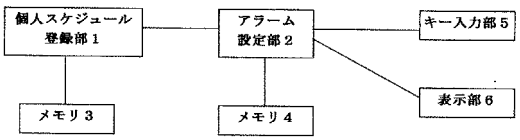
(21)出願番号　特願2004-138493 (P2004-138493)
(22)出願日　平成16年5月7日 (2004.5.7)

(71)出願人　000006013
三菱電機株式会社
東京都千代田区丸の内二丁目２番３号
(74)代理人　100113077
弁理士　高橋　省吾
(74)代理人　100112210
弁理士　稲葉　忠彦
(74)代理人　100108431
弁理士　村上　加奈子
(74)代理人　100128060
弁理士　中鶴　一隆
(72)発明者　宝官　悦子
東京都千代田区丸の内二丁目２番３号　三菱電機株式会社内

Fターム(参考)　5K027 AA11　BB01　FF25　HH27

(54)【発明の名称】アラーム鳴動装置

(57)【要約】
【課題】　従来の方式では、アラームの鳴動設定と個人のスケジュールを連動させることができなかったため、アラームの鳴動設定を休日のみ、平日のみなどと設定していた場合、個人の休日、平日ではなく、一般のカレンダー上での休日、平日でアラームが鳴動していたため、個人の休日などの場合は、再度アラームを設定し直す必要があった。
【解決手段】　スケジュール登録部１により個人の休日をスケジュールメモリ３に登録可能にする一方、アラーム設定部により休日／平日の何れかによりアラームの起動を選択できる設定を可能にし、アラームメモリ４に登録できるようにした。
【選択図】　図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
カレンダに個人スケジュール及び個人の休日情報を登録するスケジュール登録機能と、アラームを鳴動する日にち情報及び時間情報からなるアラーム情報を登録するアラーム登録機能と、
上記スケジュール登録機能により登録されたカレンダと上記アラーム登録機能により登録されたアラーム情報とを比較し、該比較結果に基づいてアラームを鳴動させる制御部とを有し、
上記アラーム登録機能は平日又は休日の何れかを選択したアラーム情報を登録可能であり、
上記制御部は上記スケジュール登録機能により登録された個人の休日情報をカレンダの休日として比較することを特徴とするアラーム鳴動装置。
【請求項２】
スケジュール登録機能は、個人の休日情報により、カレンダの休日を平日として登録することを特徴とする請求項１記載のアラーム鳴動装置。

【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、登録した日時にアラームを鳴動させるアラーム鳴動装置に関し、特に携帯電話機等の携帯電子機器に搭載されるアラーム鳴動装置に関する。
【背景技術】
【０００２】
携帯電話機等の携帯電子機器には、カレンダに個人のスケジュールを登録するスケジュール登録機能があり、また、このスケジュール登録機能により登録されたカレンダと連動させて所定の日時にアラームを鳴動させるアラーム登録機能をあわせて搭載している。
【０００３】
一般に、携帯電話機は、鞄やポケットに入れて常時携帯することが多いものであり、約束の日時や記念日を確実に報知することが可能である。したがって、携帯電話機は、本来の電話機能にとどまらず、スケジュール管理機能、及び該スケジュール管理機能と連動させたアラーム機能等、各種機能が搭載されるようになった。
【０００４】
従来、この種アラーム鳴動装置を搭載した携帯電話機として、特許文献１に記載されたものがある。この従来の方式のアラーム鳴動装置は、現在時刻とアラーム設定時刻が一致すればアラーム鳴動させることが可能であるが、個人の休日に合わせて鳴動をさせることができなかった。また、アラーム鳴動の設定項目として、平日のみや休日のみがあったとしても、日曜日及び土曜日が休日でないユーザの場合や、ユーザの都合により月曜日から金曜日のいずれかを休日とした場合は、アラームの鳴動設定を再度設定しなおす必要があった。
【０００５】
図５はアラームを鳴動する日にち及び時間を設定するアラーム設定画面の一例であり、図ではアラーム設定時刻を「２１：００」に設定しており、当日１回のみ鳴動させる場合は、「１回のみ」をカーソルキー等で選択し、曜日を指定する場合は、「曜日指定」を選択して下位の設定画面で具体的な曜日を設定し、任意の日にちを設定する場合は、「日付指定」を選択して下位の設定画面で具体的な日にちを設定する。また、アラームの起動設定を行わない場合は、「ｏｆｆ」を選択する。
【０００６】
【特許文献１】特開平７－１５４４５５号公報
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】

【０００７】
したがって、アラームの設定登録として、例えば、出勤日に起床する時刻を設定する場合、「曜日指定」で月曜から金曜日を指定すると一般的には満足のいける設定が可能であるが、土曜日や日曜日が休日でないユーザや、土曜日や日曜日が平日との振り替えで出勤日になっている場合、平日が特別な休日になっているような場合には、アラームの鳴動設定を再度設定しなおす必要があった。
【課題を解決するための手段】
【０００８】
本発明に係るアラーム鳴動装置は、カレンダに個人スケジュール及び個人の休日を登録するスケジュール登録機能と、アラームを鳴動する日にち情報及び時間情報からなるアラーム情報を登録するアラーム登録機能と、上記スケジュール登録機能により登録されたカレンダと上記アラーム登録機能により登録されたアラーム情報とを比較し、該比較結果に基づいてアラームを鳴動させる制御部とを有し、上記アラーム登録機能は平日又は休日の何れかを選択したアラーム情報を登録可能であり、上記制御部は上記スケジュール登録機能により登録された個人の休日をカレンダの休日として比較するようにしたものである。
【発明の効果】
【０００９】
本発明によれば、アラーム登録機能を平日又は休日の何れかを選択したアラーム情報の登録を可能とし、制御部はスケジュール登録機能により登録された個人の休日をカレンダの休日として比較するようにしたので、個人毎の休日、平日に連動したアラームの設定登録が可能になる。
【発明を実施するための最良の形態】
【００１０】
以下、本発明の実施の形態について詳述する。
【００１１】
図１は本発明の実施の形態１に係る主要ブロック図であり、１は個人の休日や平日、及び誕生日、記念日等のスケジュールを設定登録するスケジュール登録部、２はアラームを鳴動する時間情報、アラームを鳴動する日にち情報を設定するアラーム設定部である。スケジュールメモリ３は標準のカレンダを予め記憶しており、上記スケジュール登録部１で設定登録したスケジュールを上記標準のカレンダに上書きして記憶する。アラームメモリ４は上記アラーム設定部２で設定したアラームを鳴動する時間情報、及びアラームを鳴動する日にち情報からなるアラーム起動設定を記憶する。
【００１２】
上記スケジュール登録部１及びアラーム設定部２への設定登録は、テンキー、機能キー等からなるキー入力部５をユーザが操作することにより行われ、その設定登録画面及び登録されたスケジュールは表示部６に表示され、ユーザが確認できる。
【００１３】
次に、個人の休日等の個人スケジュールの設定、及びアラーム鳴動動作について図２に基づいて説明する。
【００１４】
まず、キー入力部５を操作することにより、スケジュール登録部１に個人の休日及び平日を設定し（ＳＴ１）、設定された個人スケジュールをスケジュールメモリ３に登録する（ＳＴ２）。
図３は、表示部６に表示させた、個人の休日を設定する休日設定画面を示す。図３の左側の画面は、個人の休日設定前の標準のカレンダであり、休日として土曜日と日曜日が設定されており、該当する日にちが例えば、赤色で表示されている。ユーザが個人の休日として１０日の水曜日を設定する場合、キー入力部５を操作して画面中のカーソル（図示せず）を１０日の位置にあわせる。そして、表示画面に表示されている「設定」に対応する位置関係にあるキー入力部５のソフトウエアキーを操作すると、１０日の水曜日が休日として設定され、右側の画面のように１０日が例えば、赤色で表示されている。

【００１５】
次に、表示画面に表示されている「登録」に対応する位置関係にあるキー入力部５のソフトウエアキーを操作すると、設定した休日の内容がスケジュールメモリ３のカレンダに上書き保存される。この休日の設定登録は任意の日にちを選択可能であり、かつ、逆に標準のカレンダで休日になっている日曜日又は土曜日を平日にすることも可能である。
【００１６】
図２において、ＳＴ３はアラームの起動設定を行うステップであり、表示部６に表示されたアラーム設定画面を用いてユーザがキー入力部５で設定する。
【００１７】
図４は、アラーム設定画面を示す。図４の左側の画面において、アラームの時刻を設定する場合、画面表示の時刻欄を選択し、キー入力部５から時刻「０７：００」を入力する。次に、画面表示の起動設定欄を選択する。起動設定欄には図示のように、「１回のみ」、「曜日指定」、「日付指定」、「休日／平日連動」、「ｏｆｆ」のメニューがあり、「１回のみ」を選択した場合は、設定した当日の７：００にアラームが起動される。また、「曜日指定」を選択した場合は、下位の設定画面で具体的な曜日を設定することにより、設定した曜日の７：００にアラームが起動される。また、「日付指定」を選択した場合は、下位の設定画面で具体的な日付を設定することにより、設定した日付の７：００にアラームが起動される。また、「ｏｆｆ」を選択した場合は、アラームは起動されない。
一方、「休日／平日連動」を選択した場合、右側の下位の設定画面が表示部６に表示される。ユーザは、表示部６の画面上でアラーム起動させたい「平日のみ」若しくは「休日のみ」を選択し、表示画面に表示されている「決定」に対応する位置関係にあるキー入力部５のソフトウエアキーを操作すると、設定した内容、例えば、平日のみの７：００にアラームが起動される設定がアラームメモリ４に登録される（ＳＴ４）。
【００１８】
上述のように、スケジュール登録及びアラーム設定が完了すると、アラーム鳴動装置は、ＳＴ５で条件１として、現在時刻とアラームメモリ４に記憶されているアラーム設定時刻とが一致するか否かを判定する。この判定の結果、一致しない場合は、ＳＴ６に移行し、何も処理をしない。一方、現在時刻とアラームメモリ４に記憶されているアラーム設定時刻とが一致しておれば、ＳＴ７に移行する。
【００１９】
ＳＴ７では、条件２として、起動設定が「休日／平日連動」であるか否かを判定する。ＳＴ７の判定で起動設定が「休日／平日連動」でなければ、ＳＴ８に移行する。ＳＴ８では起動設定の内容に応じ、「１回のみ」であれば、その設定が当日であるか否かを判定し、当日であればアラームを起動させ、当日でなければ、何も処理をしない。また、起動設定の内容が「曜日指定」の場合、当日の曜日が曜日指定に指定された曜日であるか否かを判定し、指定された曜日であればアラームを起動させ、そうでなければ、何も処理をしない。さらに、起動設定の内容が「日付指定」の場合、当日の日付が日付指定に指定された日付であるか否かを判定し、指定された日付であればアラームを起動させ、そうでなければ、何も処理をしない。
【００２０】
次に、ＳＴ７の判定で、起動設定が「休日／平日連動」であった場合、ＳＴ９に移行し、条件３として、「休日／平日」指定が「平日のみ」であるか、「休日のみ」であるかを判定する。そして、「休日／平日」指定が当日と一致している場合、ＳＴ１０に移行してアラームを起動させ、そうでなければ、何も処理をしない。ここで、当日が平日であるか、休日であるかは、ユーザがスケジュールメモリに登録した個人スケジュールのカレンダである。したがって、当日が標準のカレンダでは平日であったとしても、ユーザが当日を休日として登録しておれば、ＳＴ９の判定は、当日が休日としてなされる。
【００２１】
すなわち、ユーザが出勤日の起床時間として７：００にアラーム設定していた場合、当日の１０日が平日であっても、ユーザが１０日を休日として設定しておけば、アラームは

起動されず、休日の朝をゆっくり睡眠することができる。

【図面の簡単な説明】

【００２２】

【図１】本発明の実施の形態１に係るアラーム鳴動装置の要ブロック図である。

【図２】本発明の実施の形態１に係る個人スケジュールの設定、及びアラーム鳴動動作を説明するためのフローチャートである。

【図３】本発明の実施の形態１に係る個人の休日を設定する休日設定画面を示す画面図である。

【図４】本発明の実施の形態１に係るアラームの起動を設定するアラーム設定画面を示す図である。

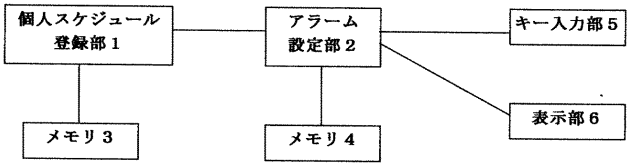
【図５】従来方式のアラームを鳴動する日にち及び時間を設定するアラーム設定画面を示す画面図である。

【符号の説明】

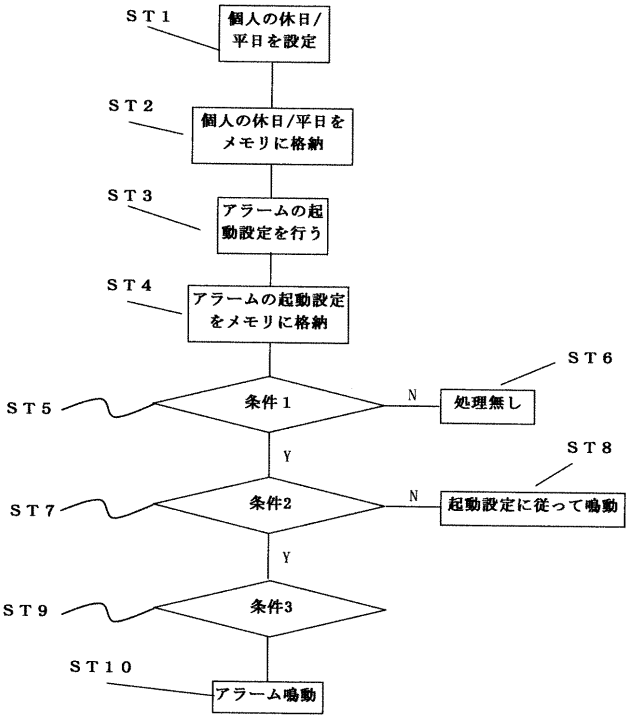
【００２３】

１　スケジュール登録部　２　アラーム設定部　３スケジュールメモリ　４　アラームメモリ　５　キー入力部　６　表示部。

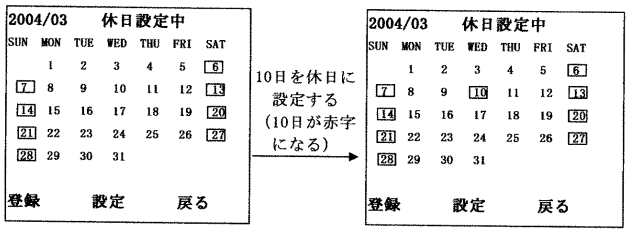
【図１】



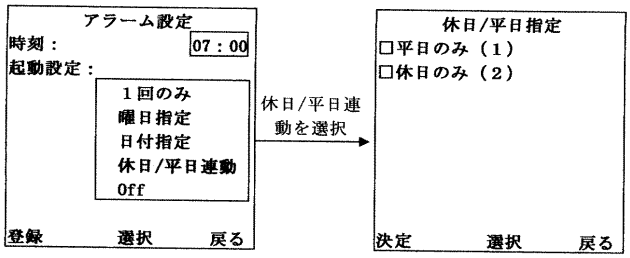
【図２】



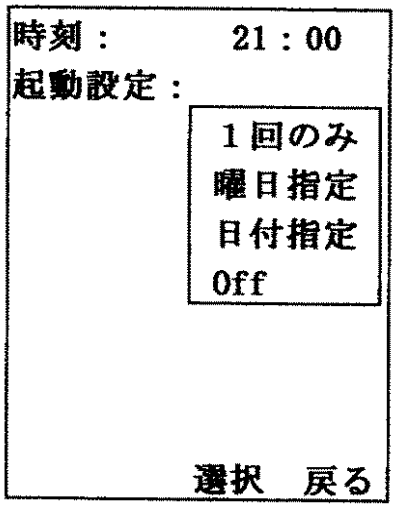
【図３】


2004/03 休日設定中
SUN MON TUE WED THU FRI SAT
1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 31
登録 設定 戻る
10日を休日に設定する（10日が赤字になる）
2004/03 休日設定中
SUN MON TUE WED THU FRI SAT
1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 31
登録 設定 戻る

【図４】


アラーム設定
時刻： 07：00
起動設定：
１回のみ
曜日指定
日付指定
休日/平日連動
Off
登録 選択 戻る
休日/平日連動を選択
休日/平日指定
□平日のみ（１）
□休日のみ（２）
決定 選択 戻る

【図５】


時刻： 21：00
起動設定：
１回のみ
曜日指定
日付指定
Off
選択 戻る